

□ 一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

問一 ー線部(ア)「チュウシユウ」、「ウ」「ハレツ」を漢字に直して書き、(イ)「湯気」の読みをひらがなで書きなさい。

問二 ー線部①「こぢんまり」の意味として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 古めかしくてつつましいさま

イ 物が不足して生活が不便なさま

ウ 余分な物までまとめられているさま

エ 小さいながら過不足なく整っているさま

問三 ー線部②「見晴らしのいい物干し場」とありますが、「ベランダ」や「バルコニー」ではなく「物干し場」と表現しているのはなぜですか。文中の語句を用いて三十五字以内で説明しなさい。

問四 ー線部③「しばらく、料理を腹に収めることに専念する」とありますが、この時の馬締の気持ちを説明したものと最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア いつも一人で食事をして、誰も訪ねてくることのないタケおばあさんのもの寂しい生活に同情している。

イ 元気がない自分を食事に誘い、温かい食事を準備してくれたタケおばあさんのやさしさに感謝している。

ウ 名月にはススキと団子を準備し、季節の変化を敏感にとらえるタケおばあさんの風流心に感動している。

エ 多種のおかずに加えて大盛りのごはんまで食べさせようとするタケおばあさんの強引さに困惑している。

問五 く線部 a ～ f について説明したものととして、正しいものを二つ選び、記号で答えなさい。

- a 「そこで足を止めた」は四つの単語で構成されており、名詞が二つ用いられている。
- b 「戸惑っている」は二つの単語で構成されており、助動詞が一つ用いられている。
- c 「移ろっていたらしい」は五つの単語で構成されており、動詞が二つ用いられている。
- d 「まだ見えぬ月」は四つの単語で構成されており、副詞が一つ用いられている。
- e 「窓を細く開けてやる」は六つの単語で構成されており、形容動詞が一つ用いられている。
- f 「するりと出ていく」は四つの単語で構成されており、連体詞が一つ用いられている。

問六 次に示すのは、―線部④「仕事が大変なのかい」から後のタケおばあさんと馬締の会話について話し合った様子です。これを読んで後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

生徒 A 馬締は、今は辞書編集部にいるようだけど、以前は営業部という所にいたようだね。

生徒 B 営業部での仕事と今の仕事の違いに悩んでいるのかな。

生徒 C 営業部では I がはっきりしていて、自分が努力すればよかったようだ。

生徒 D でも今の部署はみんな II しながら仕事をしなければならぬみたい。

生徒 A そして、馬締は自分の考えをうまく人に伝えられないから、今の部署で浮いていると感じているんだ。

生徒 B タケおばあさんはそんな馬締に III ような言葉を掛けているね。

生徒 C それが見つかけで馬締はこれまでの自己の経験を振り返って、今の自分について考えたのか。

生徒 D そして、自分の考えをきちんと伝えて IV と思っている自分の感情に思い当たったんだ。

生徒 A タケおばあさんはそんな馬締の人柄をちゃんと理解して、優しく助言しているね。

(1) 空欄 **I** にあてはまる言葉を十五字以内で書きなさい。

(2) 空欄 **II** にあてはまる熟語を二字で書きなさい。

(3) 空欄 **III** にあてはまる言葉として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 一般的な常識にもとづいて自分の過ちを認識させる

イ やさしくなくさめる言い方で嫌なことを忘れさせる

ウ あえて突き放した言葉遣いでじっくりと考えさせる

エ 疑問を投げかけることで本当の気持ちに気づかせる

(4) 空欄 **IV** にあてはまる言葉を十字以内で書きなさい。

(5) この話し合いの内容について説明したものとして最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 物語の展開に即して話し合いを進め、二人の会話の内容や馬締の心の様子を整理しようとしている。

イ 生徒自身の考えを中心に話し合いを進め、馬締やタケおばあさんの人物像を明らかにしようとしている。

ウ 物語には書かれていないことに目を向けて話し合いを進め、馬締の心の奥の感情にせまろうとしている。

エ 登場人物の会話だけに着目して話し合いを進め、言葉のもつ意味や表現方法を分析しようとしている。

問七 ―線部⑤ 「語源」とありますが、次の資料はTさんがある言葉の「語源」について調べたものです。資料を読んで、空欄に共通してあてはまる言葉を答えなさい。

【資料】

とは、別種のを交互に、あるいは同時に用いることをいう。この言葉の由来は諸説あるが、その一つに、音に由来する説がある。鉦かねを叩いた時に出る音と、鼓つづみを叩いた時に出る音。鉦は祭りのような大衆的な場面で使われ、鼓は能楽のような上流社会でなじみの深い楽器である。使われる場が異なり、一緒に鳴らすことがなかったところから、性質の異なるものをまぜあわせることをも異質な食材を混ぜ合わせることから、その名がついたと言われている。長崎の名物で有名な

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

問一 Ⅱ線部(ア)「ゲンシ」、(イ)「ヒョウバン」を漢字で、(ウ)「摘(んで)」、(エ)「絶滅」の読みをひらがなで書きなさい。

問二 空欄 A、B、C にあてはまる語を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。
ア たとえば イ したがって ウ そのうえ エ ところが

問三 空欄 D、E にあてはまる漢字一字を、次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。
ア 人 イ 稲 ウ 知 エ 感 オ 情 カ 魂

問四 Ⅰ線部①は、現代においてどういう考え方が出てきたから、見直されるようになったのですか。その考え方を述べている部分を、句読点を含めて五十字で抜き出し、最初と最後の五字を答えなさい。

問五 ー線部② 「眉をひそめ」について、

- (1) 文中での意味を記しなさい。
- (2) この表現を用いて短文を作りなさい。

問六 ー線部③ 「薄っぺらな思想」とありますが、このように言うのは、筆者がどういう考えを持っているからと考えられますか。解答欄に合う形で、七十字以内で説明しなさい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

※¹維時中納言、はじめて※²蔵人に^①補せられし時、※³主上、※⁴前栽を掘らしむがために、花の名を書かれたり。

任命された

天皇が

掘らせる目的で

納言、多く仮名をもつて^②これを書きたる時、人これをあざ笑ひたり。後日、主上、維時を召して^aこれを御覧じ

維時中納言が

使つて

周りの人々は

お呼びになつて

て、漢字を^③用ゐる^{よし}べき由を^④仰せらる。維時^{たちま}忽ちに^bこれを書きてたてまつる時、人、一草の字を知らず、

ことをおっしゃつた

すぐに

書いてさしあげる

周りの人々は草花の字を一つもわからず

競ひ来たりて^cこれを問ふ。維時^{ごと}いはく、「かくの如きがゆゑに、^⑥先日は仮名字を用ゐる」と。

このような

〔古事談〕

※¹ 維時中納言：平安時代の学者である大江維時。

※² 蔵人：帝（天皇）のそばで仕え、天皇の仕事を助ける役人。

※³ 主上：帝（天皇）の別の言い方。

※⁴ 前栽：庭先に植えた草木。植え込み。

問一 ―線部①「補せられし時」、―線部④「仰せらる」の主体（主語）は誰ですか。本文中の語句を抜き出して答えなさい。

問二 ―線部②「これを書きたる」とありますが、ここで中納言が書いたものと同じものを指しているのはaとcの「これ」のうちどれですか。最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

問三 ―線部③「用ゐる」、―線部⑤「いはく」をそれぞれ現代仮名遣いになおして答えなさい。

問四 ―線部⑥「先日は仮名字を用ゐる」について、仮名字を用いたのはなぜかを授業で考えてみました。次にあげるのはその資料です。【話し合い】はグループで話し合った発言の記録、【ノート】はグループで同時にまとめたものです。また、それぞれの空欄の同じ記号のものには同じ内容が入ります。資料を読んで続く問いに答えなさい。

【話し合い】

生徒A まず、「ゆゑ」を現代仮名遣いになるとア。これは、漢字で書くとイだね。つまり「理由」をあらわしている。すると、その前の「かくの如き」を考えた方がいい。

生徒B 「かく」は「このように」という意味のようだ。このように、が指し示すのは……直前のウがよさそう。

生徒C 賛成。でも、この一文で、中納言は「これを書きてたてまつる」んだけど、同じ花の名を書いていても最初のほうと何か違うんだよね。

生徒D 本文のはじめでは「仮名をもつて」「これを書きたる」のあと人々は「あざ笑」ったんだ。でもここでは「これを書きて」のあとに人々は質問している……。違うとすると、仮名ではない何か、エで書いたのかな。

生徒E いいね。エで書いてあったせいで人々はオから競うように中納言のもとへ質問に行ったんだ。中納言ははじめからわかっている、仮名で書いた。カ人と言えね。

母は極を用る

かくの如き + ゆゑ ↓ ア ↓ イ ↓ 理由

二

このように

ウ

本文のはじめ	多く仮名をもつて	これ(花の名)を書きたる	ひらがなばかりで「あざ笑ひたり」
この一文	「エ」(を使って)	これ(花の名)を書きて	「オ」ので、「競ひ来たり」て問ふ
	ここも対比? ⇔		対比 ⇔

あらかじめ仮名で書いておけばこうならない!(中納言はいい人!)

まとめてみると

「エ」で書くと、多くの人が「オ」ので、中納言へ質問に行くなどして困ってしまう。

中納言はこうならないように「カ」人だと言えるから。」

問い 資料の「ア」から「カ」にあてはまる語句を答えなさい。ただし、それぞれの指示に従って答えなさい。

ア 現代仮名遣いで答えなさい。

イ 漢字一文字で答えなさい。

ウ 本文中の適当な一文を探し出し、始めと終わりの五字を答えなさい。記号や句読点は含みません。

エ 本文中の適当な二字の語句を抜き出して答えなさい。

オ 本文を参考にして、あてはまる内容の語句を二十字以内の現代語で答えなさい。

カ 中納言がどのような人物かわかるように、二十字以内の現代語で答えなさい。

四 書写に関する、次の問いに答えなさい。

問一 毛筆で書いた二つの「睦月」の文字を参考にして、行書の特徴を簡潔に書きなさい。

文字例の掲載は控えております。

問二 筆を使って書くことと言えば、いわゆる「手書き」が連想されます。

文字を「手書き」することについて、あなたの考えを、自らの経験や具体例を交えて、一二〇字以上一四〇字以内で書きなさい。

ただし、原稿用紙の使い方で誤字・脱字のないように解答欄に書きなさい。なお、改行をしても構いません。

